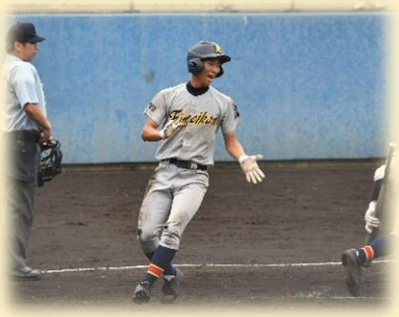
穎明館中学高等学校　野球部

6か年での育成で真の文武両道を目指す≪甲子園と最難関大学の合格の二兎を勝ち取る≫



穎明館中学高等学校野球部について

本校野球部の紹介をご覧いただきありがとうございます。

本校は中高完全一貫校となっており、学習面は勿論のこと、部活動においても中高一貫の指導が可能となっております。本校野球部では、特性を生かした指導を行うことでレベルアップをはかっています。中学1年生の春に軟式野球部に入部したのち、中学3年生の引退までは勉強と野球を中心とした生活リズムをしっかりと築いてもらいます。軟式野球部を引退した中学3年生は、夏休みの練習から硬式野球部に入部し、早い段階から硬式ボールに触れ、高校野球の基本を学ぶことができます。高校受験がないため、大好きな野球を6年間継続して続けることができます。他校の高校球児は850日程度が野球部に在籍する日数となりますが、本校の硬式野球部では約1100日程度野球部に在籍する形となります。集中して学習と野球に取り組める環境が整っている本校で文武両道を目標に一緒に野球をやりましょう！！

過去の実績

2004年　全国高等学校野球選手権大会西東京大会　準優勝

2011年　全国高等学校野球選手権大会西東京大会　ベスト8

中学軟式野球部について

活動日	週5日。火･水･木･土･日（3 月～11 月は土･日曜日に練習試合を実施）
部員数	17名（マネージャー含む）
指導者	顧問2名 外部指導員1名 学生コーチ1名

中学 1 年～中学 3 年夏に活動。

顧問 2 名、外部指導員 2 名の指導のもと、主に本校 B 球場と人工芝グラウンドを使用して練習しています。6か年での野球指導に当たり、野球の基礎基本、学業との両立を大切に指導を行っています。野球未経験の選手も在籍しておりますが、中学から野球を始めて活躍した選手もたくさんいます。昨年度の八王子秋季大会はベスト4まで進出しました。

中学3年生の夏の大会終了後には、高校硬式野球部の練習に参加します。

毎年、オープンスクールや学校説明会の日にあわせて体験練習会も実施しておりますので、是非ご参加ください。

高校硬式野球部について

活動日	週６日。月･火･水･金･土･日(３月～11 月は土･日曜日に練習試合を実施)。朝練あり。
部員数	14 名(マネージャー含む)
指導者	顧問3名 望月拓磨(監督)、小林寛己(助監督)、石田涼(部長) 外部指導員２名 外部トレーナー1 名…都内にて接骨院をされている先生に月に2･3回、選手の体のケア･ケガ防止のためのトレーニング･運動能力を高めるためのトレーニングを教えていただいています。年に数回メディカルチェックも実施しています。 学生コーチ…本校野球部 OB。

高校硬式野球部は、B 球場･堀越球場を中心に活動しています。学業との両立を大切に、甲子園出場を目指し、活動しております。近年人数が少ない状況が続きましたが、中学軟式野球部員数の増加に伴い、今後大きく飛躍していきます！

中高完全一貫教育の特性を生かした野球部の指導が本校の野球部の特徴の1つとなっております。中学 3 年夏～高校 3 年夏までの活動となります。中学軟式野球部の中学 3 年生は毎年夏休みから 9 月ごろに硬式野球部の練習生として練習に参加し、早い段階から硬式ボールに慣れることができます。基礎体力作りや高校野球に取り組む上での心構えを、中学 3 年生のうちにある身につけることで、高校１年生の春から練習試合に出場することができます。練習試合は年間に 100 試合程度を予定していますので、他の高校と比べてもより多くの実戦経験を積むことができます。

また、高校からの生徒募集がないため、部員の全員が 6 年間同じメンバーとなります。中学･高校と同じチームで培った絆は他のチームには負けません。

練習試合用ユニフォーム

大会用ユニフォーム

活動の様子

①選手権大会予選（夏の甲子園大会予選）

夏の大会には、吹奏楽部・ダンス部・在校生・OB とたくさんの人が応援に駆けつけてくれます。穎明館での野球生活の集大成となります。

②練習の様子

B 球場（穎明館中学高等学校　野球部専用グラウンド）

【ノックの様子】

【バッティング練習の様子】

堀越球場

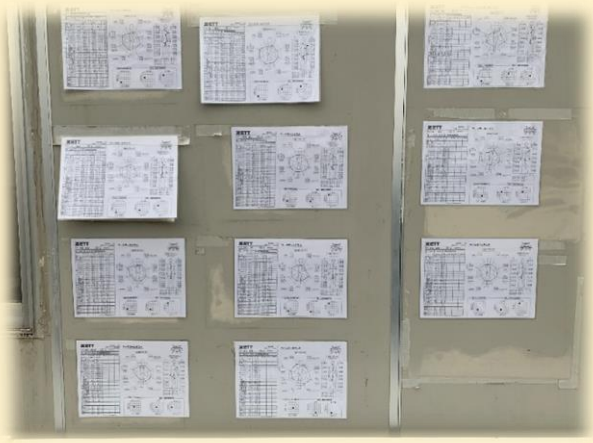
【バッティング練習の様子】広い球場で3か所でフリーバッティングを行うこともあります。

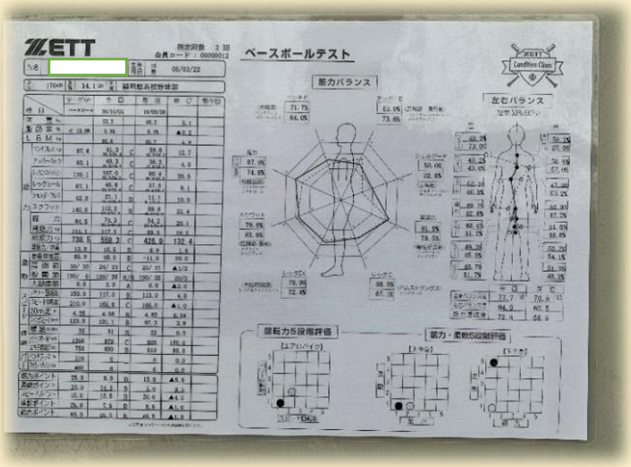
【ノックの様子】

③その他

【ZETT コンディションクリニック】

本校硬式野球部では、年に 2 回 ZETT による身体測定を実施しております。野球に必要な基礎体力やスイングスピード、各部位の筋力などを個別で数値化することにより、具体的な目標を定め、トレーニングや練習に取り組むことができるようになっています。また、ZETT のスタッフの方にお越しいただき、栄養講習会なども毎年実施しており、選手・保護者ともに体づくりに関する知識を深めてもらう機会としております。





【映像の共有】

本校硬式野球部では、バッティングフォームや投球フォームなどを部員間で共有できる環境を作っております。自分自身の動きを後から確認することで、能力の向上や自主練習の際の材料とすることができます。

練習環境について

本校野球部は都内進学校の中ではトップクラスの練習環境で野球に打ち込むことが可能です。

広いグラウンドが複数あり、専用グラウンドもあるため、「サッカー部とグラウンドを分けて使用する」「練習場所がないため狭いスペースで練習をする」といった都内の学校ならではの悩みは一切ありません。

①野球部専用グラウンド(B 球場)…全面土の野球部専用グラウンド。60m×75m。ブルペンは 4 か所同時に投球練習可能。ネット打ちが可能なゲージが二か所あり。守備練習と並行しながら、打撃練習が可能です。照明もついているので、日が暮れてからもバッティング練習が可能です。

3 輪式硬式用マシン(ストレート、変化球対応)

アーム式硬式用マシン(ストレート対応)

②堀越球場（A球場）…中堅 121m、両翼 92m。高校野球の春季・秋季大会の一次予選の会場として使用されています。堀越高校と兼用。高校生が主に水、木曜日に使用。ナイター設備あり。ブルペンは９か所同時に投球練習可能。

③人工芝グラウンド…外野ノックが十分にできる広さのグラウンド。400mトラックあり。フリーバッティングや外野ノックで使用。

④室内トレーニングルーム…室内にあるためいつでもトレーニングが可能です。ベンチプレス、スクワット、デッドリフトを中心に様々なウエートトレーニングが可能です。

進学実績　（掲載は選手のみ）

･野球に情熱を注ぎ、一生懸命努力をした選手は引退後も希望の進路に進学しております。本校野球部では文武両道を掲げ、勉強も一生懸命取り組ませています。

＊卒業生の主な進学先

2014 年度 28 期生(4 名)　慶應義塾大学、明治大学、法政大学、東京理科大学

2015 年度 29 期生(8 名)　東京工業大学、東京学芸大学、青山学院大学 2 名、明治大学、上智大学、法政大学、東京農業大学

2016 年度 30 期生(9 名)　早稲田大学 4 名、慶應義塾大学 2 名、芝浦工業大学、立教大学、東海大学

2017 年度 31 期生(7 名)　首都大学東京、関西大学、青山学院大学、早稲田大学、慶應義塾大学、明治大学、東京電機大学

2018 年度 32 期生(7 名)　東北大学、首都大学東京、横浜国立大学、明治大学、青山学院大学、中央大学、東京薬科大学、順天堂大学

2019 年度 33 期生(4 名)　青山学院大学、学習院大学、進学準備 2 名

随時、練習の見学は可能です。体験練習会も年数回実施しておりますので、穎明館中学高等学校の野球部の雰囲気を感じに来てください。練習見学、ご質問は以下の連絡先までお願いいたします。

お問い合わせ先

【電話】042-664-6000 高校硬式野球部　監督　望月　　【メール】baseballclub@emk.ac.jp

穎明館で一緒に野球をやろう！！君たちの入部を待っています！！